

宣言 (案)

天ハ神靈ノ氣ヲ東海ニ鍾メ之ヲ一元ニ化シテ神州ヲ造リ以テ天孫ヲ降下シテ君臨セシメ其種族ヲ育成ス故ニ吾人ハ維神生々ノ民ニシテ家國悠遠ニ道義高明ナリ而シテ我が建國ノ大本卽チ茲ニ發ス

近時刑名ノ學者天皇機關說ヲ立テ議會ヲ以テ暗ニ 天皇ニ對等ヲ潜議スルコト茲ニ四十餘年此ノ間百弊百害ヲ生シ今ヤ國民漸ク其非ヲ覺ルニ至ル

憶フニ天皇機關說ノ根源ハ自由民主ノ思想ニ發スルヲ以テ全ク我國體ニ背反シ延テ民族固有ノ精神ヲ破壞シ社會經濟ヲ惡化スルコト必然ノ歸結ナリ

故ニ吾人ハ速ニ之ヲ擊滅シテ 陛下ノ國體ヲ擁護シ奉リ以テ國政ヲ建國ノ本義ニ回シ九千万國民等シク聖澤ニ浴センコトヲ期ス而シテ皇道維新ノ本義亦タ實ニ茲ニ在リ卽チ大會ヲ開キ政府ニ迫ル所以ナリ

臺閣諸公速ニ之ヲ明斷セヨ

敢テ宣言ス

決議 (案)

- 一、天皇機關說ハ我國體ニ背反シ延テ國民ノ思想、生活ヲ惡化セシムルモノト認ム因テ政府ハ速ニ斷乎タル處置ヲ執ルベシ
- 二、此學說ヲ信スル貴衆兩院議員又ハ此學說ニヨリテ登用サルタル官吏ニ對シ政府ハ速ニ斷乎タル處置ヲ執ルベシ

右決議ス

皇紀二千五百九十五年三月二十一日

國體擁護西日本國民大會